

個人質問

11月定例市議会では、三十人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・行政

公金収納電子化研究会

問 市民サービスの向上と収納率アップのために電子収納システムを導入しては。

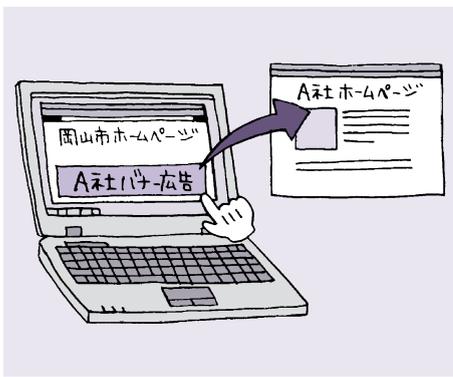
答 収納環境改善への取り組みとして、マルチペイメントネットワーク（MPN）による電子収納やコンビニ収納を導入し、納入チャンネルを拡大している自治体が増えていく。現在、本市では会計課、税制課、収納課、料金課、情報システム課の職員で構成する公金収納電子化研究会を設け、MPNの実体的運用を研究している。

ホームページのバナー広告

問 歳入を増やすために、ホームページにバナー広告を

採用しては。

答 他都市の掲載状況や金額設定などの基礎調査を行ってきた。二百七十三自治体（平成18年12月調査）が掲載しており、今後さらに増加する見込みだ。年間収入額はアクセス数により、単価が百万円から三百万円だ。引き続き広告掲載に係る基本的な事項を定めた要綱などの準備を進め、20年度実施を目指している。



随意契約の見直しで

財政の改善を

問 財政改善のために、随意契約を廃止し、一般競争入札を行うべきでは。

答 地方自治体の契約方法としては一般競争入札が原則であり、随意契約は例外だという原点に立ち返り、平成19年10月から金額、内容の妥当性のチェックを含め、随意契約の見直しを行っている。今後とも一層適切な方法、金額での契約となるよう見直しに取り組むたい。

市シルバー人材センター

債務超過問題

問 岡山市シルバー人材センターの債務超過問題は、財団及び本市当局の内部調査の域を超えており、ただちに関係者を刑事告訴すべきでは。

答 現在、財団では、刑事告訴も視野に入れ原因を究明中だ。本市としても、財団とともに重大な過失や不正支出の

有無について、最後まで徹底的に追求し、うみを出し切る決意だ。

観光振興マトリックス班

今後の取り組みと課題

問 観光振興マトリックス班の①今後の取り組みは②組織の成果と課題、課題克服への方策は。



散策の楽しみをまち全体へ～西川緑道公園

答 ①緑化フェアに向けて西川緑道公園などを中心に「まち歩き散策コース」の開発などを考えている。まち自体を楽しんでもらい、その効果がまち全体に広がる方策を研究したい②成果は情報の共有が進み、部局間を越えた連携が図れることだ。課題は企画案

の事業化に向けた役割分担と具体的手法などだが、前向きに経験していく中、事業化を積極的に推進したい。

市民・職員の声を反映し

市民サービスの向上へ

問 市民サービスの向上に向け現場の職員の声は、どのように市政運営に反映されているか。

答 市長自ら、各職場に出向き職員の声を聞きたいと考えている。一方、さまざまな形で寄せられる市民の意見や提案についても参考とすることを基本としている。さらに市民の声を聞くため各地の公民館での懇談会開催を検討している。

用語解説



※2 マルチペイメントネットワーク＝地方公共団体等の収納機関と金融機関等を通信回線で結び、公共料金等をパソコン、携帯電話、ATM等により納付することができるネットワーク。
 ※3 バナー広告＝インターネット広告の一種でWebサイトに広告の画像を張り、広告主のWebサイトにリンクする手法。インターネット広告としては最も広く用いられている。